

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																											
東日本デザイン & コンピュータ専門学校		昭和61年3月10日		小林 一英		〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1171																											
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																											
学校法人山崎学園		昭和42年3月31日		遠山 巍		〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945																											
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																									
商業実務		商業実務専門課程		デザイン学科(アートクラフトコース)		平成17年文部科学大臣告示 第177号		なし																									
学科の目的		本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及びCG・ゲーム分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。																															
認定年月日		平成26年3月31日																															
修業年限		昼夜		全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義		演習		実習		実験		実技																			
2年		昼間		1800時間				2250時間																									
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内数)		専任教員数		兼任教員数		総教員数		単位時間																					
200人		15人(138人の内数)		0人		7人		10人		17人																							
学期制度		■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案																									
長期休み		■学年始め: 4月1日～4月5日 ■夏 季: 7月26日～8月25日 ■冬 季: 12月25日～1月8日 ■学 年 末: 3月22日～3月31日				卒業・進級条件		校長が成績評価の基準に従い認定する。																									
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応				課外活動		■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等 ■サークル活動: 有																									
就職等の状況※2		■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) 共立印刷(株)、(有)ハートマーケット 他 広告・印刷会社、その他一般企業 ■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等 ■卒業者数 : 5 人 ■就職希望者数 : 5 人 ■就職者数 : 5 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 (令和 4 年度卒業者に 関する令和5年5月1日 時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者に 関する令和 5年5月1日時点の情報) <table><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr><tr><td>Illustratorクリエイター能力認定試験</td><td>③</td><td>23人</td><td>15人</td></tr><tr><td>Photoshopクリエイター能力認定試験</td><td>③</td><td>23人</td><td>12人</td></tr><tr><td>色彩検定</td><td>③</td><td>91人</td><td>64人</td></tr><tr><td>POP広告クリエイター技能審査試験</td><td>③</td><td>24人</td><td>24人</td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄						資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	Illustratorクリエイター能力認定試験	③	23人	15人	Photoshopクリエイター能力認定試験	③	23人	12人	色彩検定	③	91人	64人	POP広告クリエイター技能審査試験	③	24人	24人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																														
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	23人	15人																														
Photoshopクリエイター能力認定試験	③	23人	12人																														
色彩検定	③	91人	64人																														
POP広告クリエイター技能審査試験	③	24人	24人																														
中途退学の現状		■中途退学者 7 名 ■中退率 5.2 % 令和4年4月1日時点において、在学者135名 (令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者128名 (令和5年3月31日卒業者を 含む) ■中途退学の主な理由 病気(精神的体調不良等)、学習意欲の低下、経済的理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応																															
経済的支援制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 : 有 特待制度 ■専門実践教育訓練給付 : 無																															
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価 : 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																															
当該学科のホームページURL		http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/																															

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にしている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
小林 一英	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 校長	令和 5年4月1日 ~ 令和 6年3月31日(1年)	
朝日 泰博	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 教務部長(デザイン学科)	//	
石川 靖	群馬県印刷工業組合 理事長	//	①
齋藤 徹	エイチレフ合同会社 代表社員	//	③
平田 耕一郎	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 学科長(デザイン学科)	//	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

年間開催数:2回(毎年5月、11月)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、自分の作品に対する著作権について、PixivやTwitterなどでのリスク管理法や、著作権の問題を回避ための画像加工技術も学ばせるようにした。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成を目指す。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

(3)具体的な連携の例

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
イラストレーションⅠ・Ⅱ	イラストレーションの意味と役割を学び、さまざまな画材や技術を体験しながら多様なイラストレーション表現を学習する。	都プランニング

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
(2)各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、・資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
(3)教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動(サークル活動、学生会活動)等の状況
(6)学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科アートクラフトコース) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			色彩論	色彩に関する理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用法も習得する ・色彩科学 ・色彩心理 ・色彩調和（配色） ・色彩と生活（ファッション・インテリア）	1前後	60	2		○		○			○	
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習（社会人としてのマナーを身につける） ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客対応	1前後	60	2		○		○			○	
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1前・2前	60	2		○		○			○	
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1後・2後	60	2		○		○			○	
		○	コースミートニング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1前後・2前後	120	4		○		○		○		
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修（美術展鑑賞など） ・スポーツ大会	1期間・2期間	60	2		○			○	○		
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1期間・2期間	60	2		○		○		○		
○			デッサン	静物、人物などをを写生することを通して、立体としての物の見え方や空間認識を学びながら基礎的な造形感覚を養成 ・デッサン概説 ・用具の使い方 ・構図のとり方 ・空間のとらえ方	1前後・2前後	240	8		○		○			○	
○			造形基礎演習	平面作品制作を中心に様々な制作実習を通して、造形的基礎力を養成 ・画材とその用法の学習 ・色彩構成（配色と構図） ・絵画的表現方法の研究	1前後	120	4		○		○		○		
合計				9科目		840単位時間（ 28単位）									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科アートクラフトコース) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Illustrator 演習	Illustratorの基本操作からパス描画やグラフィックデザインの基礎技術を学習する ・ ツールの使い方、効果 ・ パスを使ったオブジェクト描画 ・ 印刷物のレイアウト技術	1前	60	2		○		○		○		
○			Photoshop 演習	・ Photoshop操作の基礎 ・ 画像合成やレタッチなどの演習 ・ 保存形式などの適切な処理 ・ 検定への対策	1後	60	2		○		○		○		
○			絵画	・ 様々な用材を使用して、その特性を生かした表現を学ぶ。 ・ 基本的な絵画表現の習得し、自己表現の中で活用できるようにする。	1前後	240	8		○		○			○	
○			クラフト	様々な素材の性質や加工法など、モノ作りの基礎を学び、オリジナル作品の制作へと発展させる。	1前後	240	8		○		○		○		
○			造形演習	・ 平面・立体作品の制作を通して、制作で必要とされる造形基礎能力を養う。 色彩構成/レイアウト/画材研究	2前後	240	8		○				○		
○			コンペ対策	絵画・イラスト・デザインに関連するコンペティションに応募、入賞を目指し作品を制作 ・ 各種コンペの傾向と対策	2前後	240	2		○				○		
○			イラストレーション	イラストレーションの意味と役割を学び、さまざまな画材や技術を体験しながら多様なイラストレーション表現を学習する。	2前後	120	4		○					○	○
		○	CG実習	・ Illustrator、Photoshop操作の応用 ・ 広告デザイン等のグラフィックデザイン ・ デジタルイラストレーション	2前後	120	4		○				○		
		○	キャリアデザイン	主に就職活動を中心とした進路指導 ・ 自己PR、志望動機作成 ・ 面接指導 ・ 個人カウンセリング	1後・2後	120	4		○		○		○		
合計			9科目			1380単位時間(46単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科アートクラフトコース) 令和5年度																		
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携			
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任				
		○	デザイン史	近代デザイン史を中心に19世紀後半から現在までのデザイン、建築、アートの動向について概観していく ・アーツ&クラフツ運動からバウハウス ・モダニズムからポストモダン	2前	30	1		○		○		○					
合計						1科目										30単位時間(1単位)		

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																											
東日本デザイン & コンピュータ専門学校		昭和61年3月10日		小林 一英		〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1171																											
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																											
学校法人山崎学園		昭和42年3月31日		遠山 巍		〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945																											
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																									
商業実務		商業実務専門課程		デザイン学科(コミックイラストコース)		平成17年文部科学大臣告示 第177号		なし																									
学科の目的		本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及びCG・ゲーム分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。																															
認定年月日		平成26年3月31日																															
修業年限		昼夜		全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義		演習		実習		実験		実技																			
2年		昼間		1800時間				2310時間																									
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内数)		専任教員数		兼任教員数		総教員数		単位時間																					
200人		74人(138人の内数)		0人		7人		10人		17人																							
学期制度		■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案																									
長期休み		■学年始め: 4月1日～4月5日 ■夏 季: 7月26日～8月25日 ■冬 季: 12月25日～1月8日 ■学 年 末: 3月22日～3月31日				卒業・進級条件		校長が成績評価の基準に従い認定する。																									
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応				課外活動		■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等 ■サークル活動: 有																									
就職等の状況※2		■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) (株)トライエース、(株)こどもの館、(株)Trys 他 ゲーム制作会社、イラスト制作会社、その他一般企業 ■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等 ■卒業者数 : 38 人 ■就職希望者数 : 30 人 ■就職者数 : 29 人 ■就職率 : 96.7 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 76.3 % ■その他 (令和 4 年度卒業者に 関する令和5年5月1日 時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者に 関する令和 5年5月1日時点の情報) <table><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr><tr><td>Illustratorクリエイター能力認定試験</td><td>③</td><td>23人</td><td>15人</td></tr><tr><td>Photoshopクリエイター能力認定試験</td><td>③</td><td>23人</td><td>12人</td></tr><tr><td>色彩検定</td><td>③</td><td>91人</td><td>64人</td></tr><tr><td>POP広告クリエイター技能審査試験</td><td>③</td><td>24人</td><td>24人</td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄						資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	Illustratorクリエイター能力認定試験	③	23人	15人	Photoshopクリエイター能力認定試験	③	23人	12人	色彩検定	③	91人	64人	POP広告クリエイター技能審査試験	③	24人	24人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																														
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	23人	15人																														
Photoshopクリエイター能力認定試験	③	23人	12人																														
色彩検定	③	91人	64人																														
POP広告クリエイター技能審査試験	③	24人	24人																														
中途退学の現状		■中途退学者 7 名 ■中退率 5.2 % 令和4年4月1日時点において、在学者135名 (令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者128名 (令和5年3月31日卒業者を 含む) ■中途退学の主な理由 病気(精神的体調不良等)、学習意欲の低下、経済的理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応																															
経済的支援制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 : 有 特待制度 ■専門実践教育訓練給付 : 無																															
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価 : 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																															
当該学科のホームページURL		http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/																															

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にしている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
小林 一英	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 校長	令和 5年4月1日 ~ 令和 6年3月31日(1年)	
朝日 泰博	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 教務部長(デザイン学科)	//	
石川 靖	群馬県印刷工業組合 理事長	//	①
齋藤 徹	エイチレフ合同会社 代表社員	//	③
平田 耕一郎	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 学科長(デザイン学科)	//	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

年間開催数:2回(毎年5月、11月)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、自分の作品に対する著作権について、PixivやTwitterなどでのリスク管理法や、著作権の問題を回避ための画像加工技術も学ばせるようにした。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成を目指す。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

(3)具体的な連携の例

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
造形基礎演習	紙とペン、色鉛筆などの画材を用いて美術的な造形活動の基本を学習する。「見て描く」力を養う。立体空間表現(パース)、質感、色彩、画材の使い方などを学ぶ。	都プランニング

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
(2)各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、・資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
(3)教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動(サークル活動、学生会活動)等の状況
(6)学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科コミックイラストコース) 令和5年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任 企業等との連携
○			色彩論	色彩に関する理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用法も習得する ・色彩科学 ・色彩心理 ・色彩調和（配色） ・色彩と生活（ファッション・インテリア）	1前後	60	2	○			○			○
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習（社会人としてのマナーを身につける） ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客対応	1前後	60	2	○			○			○
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1前・2前	60	2	○			○			○
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1後・2後	60	2	○			○			○
		○	コースミートニング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1前後・2前後	120	4	○			○		○	
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修（美術展鑑賞など） ・スポーツ大会	1期間・2期間	60	2	○				○	○	
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1期間・2期間	60	2	○			○		○	
○			デッサン	静物、人物などを写生することを通して、立体としての物の見え方や空間認識を学びながら基礎的な造形感覚を養成 ・デッサン概説 ・用具の使い方 ・構図のとり方 ・空間のとらえ方	1前後・2前後	240	8	○			○			○
○			造形基礎演習	紙とペン、色鉛筆などの画材を用いて美術的な造形活動の基本を学習する。「見て描く」力を養う。立体空間表現（パース）、質感、色彩、画材の使い方などを学ぶ。	1前	60	2	○			○		○	○
合計				9科目		780単位時間(26単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科コミックイラストコース) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デジタルイラスト	・ペイント系CGソフトを活用した作品制作。 ・ペンタブレットを活用したペイント技術 ・キャラクターイラスト ・背景、エフェクト表現	1前	60	2		○		○		○		
○			CG演習	Illustratorの基本操作からパス描画やグラフィックデザインの基礎技術を学習する ・ツールの使い方、効果 ・パスを使ったオブジェクト描画 ・印刷物のレイアウト技術	1前	60	2		○		○		○		
○			キャラクターデザイン	人体構造の基礎を学び、衣装デザイン、テーマからのキャラクター作りに取り組む。 ・衣装デザイン ・オリジナルキャラクター制作 ・三面図の制作	1前	60	2		○		○			○	
○			コンペ対策	様々なイラストコンペに応募するための、準備調査を学び、実際に応募する。 進級制作など学校行事に向けた企画制作。	1前後・2前	300	10		○		○		○		
○			CLIPSTUDIO10演習	CLIPSTUDIO PAINTの基本操作を学ぶ。 ・塗りの基本 ・マンガツール ・アニメーションツール など	1前	60	2		○		○		○		
○			Live2D	Live2D Cubism の基本操作を学ぶ。 ・パーツ素材作り ・モデリング ・アニメーション ・SDK書き出しなど	1後	60	2		○		○		○		
○			webデザイン	webデザインの基本を学び、自分のポートフォリオサイトを制作、運用する。 ・wixの運用 ・wordpress の運用 ・バナー制作など	1後	60	2		○		○		○		
		○	キャリアデザイン	主に就職活動を中心とした進路指導 ・自己PR、志望動機作成 ・面接指導 ・個人カウンセリング	1後	30	1		○		○		○		
○			アニメーション	各種アニメーション、動画制作ソフトを併用し、アニメーションコンペの応募を目指す。	2前後	120	4		○		○		○		
合計			9科目			990単位時間(33単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科コミックイラストコース) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			3D基礎	3DCG制作ソフトの基本を学ぶ。3Dモデリングを通じて作品のクオリティ向上を目指す。	2前	60	2		○		○		○		
	○		マルチメディア演習	今まで学んだ様々なグラフィックツールを総合的に運用し、ゲームコンテンツ、動画、web配信など様々なメディアに活用する。	2前後	120	4		○		○		○		
	○		グラフィックデザイン	主にDTPソフトを使用してその実戦的技術を学習する ・グラフィックデザイン(冊子誌面レイアウト) ・ロゴデザイン、リーフレットなど、デザイン業務を想定した課題制作。	2前後	120	4		○		○		○		
	○		マンガ制作	ストーリーマンガ制作を主軸としたマンガ執筆 ・プロットの作り方 ・ネームの描き方 ・CGツールを利用した制作と仕上げ	2前後	240	8		○		○			○	
		○	卒業制作	卒業・進級制作展に展示することを目標として、2年間の集大成としての作品制作	2後	120	4		○		○		○		
合計				5科目		600単位時間(20単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																											
東日本デザイン & コンピュータ専門学校		昭和61年3月10日		小林 一英		〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1171																											
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																											
学校法人山崎学園		昭和42年3月31日		遠山 巍		〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945																											
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																									
商業実務		商業実務専門課程		デザイン学科(グラフィックデザインコース)		平成17年文部科学大臣告示 第177号		なし																									
学科の目的		本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及びCG・ゲーム分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。																															
認定年月日		平成26年3月31日																															
修業年限		昼夜		全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義		演習		実習		実験		実技																			
2年		昼間		1800時間				2160時間																									
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内数)		専任教員数		兼任教員数		総教員数		単位時間																					
200人		49人(138人の内数)		0人		7人		10人		17人																							
学期制度		■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案																									
長期休み		■学年始め: 4月1日～4月5日 ■夏 季: 7月26日～8月25日 ■冬 季: 12月25日～1月8日 ■学 年 末: 3月22日～3月31日				卒業・進級条件		校長が成績評価の基準に従い認定する。																									
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応				課外活動		■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等 ■サークル活動: 有																									
就職等の状況※2		■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) (株)マイナビ、(株)若草印刷、(株)太洋社印刷所 他 広告・印刷会社、Web制作会社及び企業内Web担当 等 ■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等 ■卒業者数 : 15 人 ■就職希望者数 : 14 人 ■就職者数 : 14 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 93.3 % ■その他 (令和 4 年度卒業者に関する 令和5年5月1日 時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等) ※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者に関する令和 5年5月1日時点の情報) <table><tr><td>資格・検定名</td><td>種別</td><td>受験者数</td><td>合格者数</td></tr><tr><td>Illustratorクリエイター能力認定試験</td><td>③</td><td>23人</td><td>15人</td></tr><tr><td>Photoshopクリエイター能力認定試験</td><td>③</td><td>23人</td><td>12人</td></tr><tr><td>色彩検定</td><td>③</td><td>91人</td><td>64人</td></tr><tr><td>POP広告クリエイター技能審査試験</td><td>③</td><td>24人</td><td>24人</td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄						資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	Illustratorクリエイター能力認定試験	③	23人	15人	Photoshopクリエイター能力認定試験	③	23人	12人	色彩検定	③	91人	64人	POP広告クリエイター技能審査試験	③	24人	24人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																														
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	23人	15人																														
Photoshopクリエイター能力認定試験	③	23人	12人																														
色彩検定	③	91人	64人																														
POP広告クリエイター技能審査試験	③	24人	24人																														
中途退学の現状		■中途退学者 7 名 ■中退率 5.2 % 令和4年4月1日時点において、在学者135名 (令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者128名 (令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 病気(精神的体調不良等)、学習意欲の低下、経済的理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応																															
経済的支援制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 : 有 特待制度 ■専門実践教育訓練給付 : 無																															
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価 : 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																															
当該学科のホームページURL		http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/																															

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況

3. 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にしている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
小林 一英	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 校長	令和 5年4月1日 ~ 令和 6年3月31日(1年)	
朝日 泰博	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 教務部長(デザイン学科)	//	
石川 靖	群馬県印刷工業組合 理事長	//	①
齋藤 徹	エイチレフ合同会社 代表社員	//	③
平田 耕一郎	東日本デザイン&コンピュータ専門学校 学科長(デザイン学科)	//	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

年間開催数:2回(毎年5月、11月)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、自分の作品に対する著作権について、PixivやTwitterなどでのリスク管理法や、著作権の問題を回避ための画像加工技術も学ばせるようにした。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成を目指す。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

(3)具体的な連携の例

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
Web演習 I・II	・Webサイト制作演習 ・Web、インターネットの活用法、知識習得	エイチレフ合同会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
(2)各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、・資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
(3)教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動(サークル活動、学生会活動)等の状況
(6)学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科グラフィックデザインコース) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			色彩論	色彩に関する理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用法も習得する ・色彩科学 ・色彩心理 ・色彩調和（配色） ・色彩と生活（ファッション・インテリア）	1前後	60	2		○		○			○	
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習（社会人としてのマナーを身につける） ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客対応	1前後	60	2		○		○			○	
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1前・2前	60	2		○		○			○	
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1後・2後	60	2		○		○			○	
		○	コースミートニング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1前後・2前後	120	4		○		○		○		
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修（美術展鑑賞など） ・スポーツ大会	1期間・2期間	60	2		○			○	○		
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1期間・2期間	60	2		○		○		○		
○			デッサン	静物、人物などをを写生することを通して、立体としての物の見え方や空間認識を学びながら基礎的な造形感覚を養成 ・デッサン概説 ・用具の使い方 ・構図のとり方 ・空間のとらえ方	1前後・2前後	240	8		○		○			○	
○			造形基礎演習	平面構成を中心にして基礎造形力を養成 ・画材用具と混色方法 ・配色と構図 ・対比（明暗、大小、距離）	1前後	120	4		○		○		○		
合計				9科目		840単位時間（ 28単位）									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科グラフィックデザインコース) 令和5年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			クリエイティブデザイン	・デザインの基礎技術や、表現技法を学ぶ ・適切な表現方法の選択 ・コンペへの応募 ・ポートフォリオ作成などへの対応	1 前後・2 前後	240	8		○		○		○			
○			Illustrator 演習	Illustratorの基本操作からパス描画やグラフィックデザインの基礎技術を学習する ・ツールの使い方、効果 ・パスを使ったオブジェクト描画 ・印刷物のレイアウト技術	1 前	60	2		○		○		○			
○			Photoshop 演習	・Photoshop操作の基礎 ・画像合成やレタッチなどの演習 ・保存形式などの適切な処理 ・検定への対策	1 後	60	2		○		○		○			
○			デジタルイラスト	・ペイント系CGソフトの基本操作 ・ペンタブレットを活用したペイント技術 ・CGイラストの表現技法、テクニック学習 ・キャラクターデザイン・デジタルマンガ ・背景、エフェクト表現	1 前	60	2		○		○			○		
○			POP広告デザイン	・POP広告の基本知識・技法について ・基本書体について ・レイアウトについて ・POP検定対策	1 前	30	1		○		○		○			
○		○	コンペ対策	デザイン、美術に関連するコンペティションに応募、入賞を目指し作品を制作 ・各種コンペの傾向と対策	1 前・2 前	60	2		○		○		○			
○			フォトテクニック	・デジタル一眼レフカメラの知識、使用方法 ・カメラ・撮影に関する基本的な知識、技術習得 ・写真のレタッチ・広告での使用法などの演習	1 後	60	2		○		○			○		
○			DTP基礎	・用語や印刷知識 ・サムネイル、ラフの制作 ・レイアウト作品演習	1 後	60	2		○		○		○			
○			Web基礎	・XDによるデザインカンパ制作 ・HTML、CSSの理解 ・Dreamweaverの操作方法 ・ポートフォリオサイトの制作	1 後	60	2		○		○			○		
合計				9科目		690単位時間(23単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程デザイン学科グラフィックデザインコース) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			D T P 概論	・ 広告物製作工程、専門用語の理解 ・ 写真、製本、印刷工程の理解 ・ 紙媒体とデジタルメディアについて	1後	30	1		○		○		○		
		○	一般常識	就職試験に向けた一般常識の学習 ・ 筆記試験対策 ・ 面接試験対策	1後	30	1		○		○		○		
○			D T P 演習	・ Indesignの操作方法 ・ 誌面構成の理解 ・ 製本基礎 ・ 立案から制作までのワークフロー ・ CI計画の演習	2前後	120	4		○		○		○		
○			Web演習	・ Webサイト制作演習 ・ Web、インターネットの活用法、知識習得	2前後	120	4		○		○			○	○
○			映像編集	After Effectsを使用しての映像編集の技術を学ぶ	2前後	120	4		○		○		○		
○			3 D C G 演習	モデリングからテクスチャマッピングまで 3 D C Gの基本概念と技術の学習	2前	60	2		○		○		○		
○			デザイン史	近代デザイン史を中心に19世紀後半から現在までのデザイン、建築、アートの動向について概観していく ・ アーツ&クラフツ運動からバウハウス ・ モダニズムからポストモダン	2前	30	1		○		○		○		
○			VD・CI計画	・ グラフィックデザインの概論 ・ 広告やWeb上で印象に残るビジュアル表現研究 ・ C I の概要から制作、提案	2後	60	2		○		○		○		
		○	卒業制作	卒業・進級制作展に展示することを目標として、2年間の集大成としての作品制作	2後	60	2		○		○		○		
合計				9科目		630単位時間 (21単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。